

【創世記第15章】

「彼は主を信じた。主はそれを彼の義と認められた。」

(創世記15:6)

信仰によって前進したアブラムですが恐れが来たようですね。そこに**神のことば**がありました。「アブラムよ。恐れるな。」と。私たちの中に確かさがなくても、神のことばがあれば大丈夫です。神のことばが現実で、その言葉は必ず成就するからです。聖なるものとそうでない物の区別をして、アブラムはソドムの王から決して物を受け取りませんでした。これは彼の神からすべてを受けるといふ信仰の姿勢でしょう。

マタイ14:30に、ペテロがイエス様を見て水の上を歩いたことが載っています。イエス様だけを見ている時は、現実には考えられない奇跡が起こっています。しかしペテロは風が吹いているのを見て恐ろしくなりました。そして沈みかけて「主よ。お助け下さい。」と叫んでいるのです。私達にも当てはまります。信仰を持って出発したのはいいですが、現実を見て、自分は何をしているんだろう!!と、歩みをストップしたり、後ろを向いて逃げ出すこともあります。ここでアブラムは神に励まされています。「わたしはあなたの盾である。あなたの受ける報いは非常に大きい。」と、そして実際に子供がいない事で神とやり取りをしているアブラムに再び**ことば**がありました。「その者があなたの跡を継いではならない。ただ、あなた自身から生まれ出て来る者が、あなたの跡を継がなければならない。」実際まだ子供が生まれていないし、生まれる見込みもないほど年を取っているのです。「さあ、天を見上げなさい。星を数えることができるなら、それを数えなさい。」さらに仰せられた。「あなたの子孫はこのようになる。」と語りかけを受けたのです。何とアブラムは単純に「彼は主を信じた。」これがアブラムの素晴らしい信仰です!!「主はそれを彼の義と認められた。」信仰義認は何か神様の言いつけを守ったからとか、神様の喜ばれる事をしたからというのではなく、ただただ**神のことばを聞いて信じたこと**によります。

アブラムの契約が4000年以上たった今成就しているのを見ることができ、神の真実さを覚えますが、私達はヘブル13:20「永遠の契約の血」であるイエス・キリストの贖いの血によって、罪赦され、神の子とされ、永遠のいのちを与えられています。なおなお神のことばを聞き、ことばに聞き従う歩みをするものとなれますように!

やすらぎの歌9集67番「時が来たら」

♪1、空に光る星を見て 我は信じた 闇の中に響く 約束のことば
望みえない時にも 我は信じた どんなに試されても 我は信じた
※<信じている 諦めない 放さないで 約束された神は 真実だから
時が来たら 奇跡のみ手が動いて ずっと待ったことばが 成就をする>

2、数えきれない沢山の星が降り注ぐ
見上げる吾の元へ 祝福のことば はるかかなた 時を越え 永遠なる神
無から有を呼び出す 神を信じた >



TLCCC FRH

天に登録されている長子たちの教会

Church of the **F**irstborn who are **R**egistered in **H**eaven

主任牧師：イエス・キリスト

牧師：ダニエル大重

SHILOAM

【シロアム：遣わされた者】

2014.9.7 No.805

新年のみ言葉

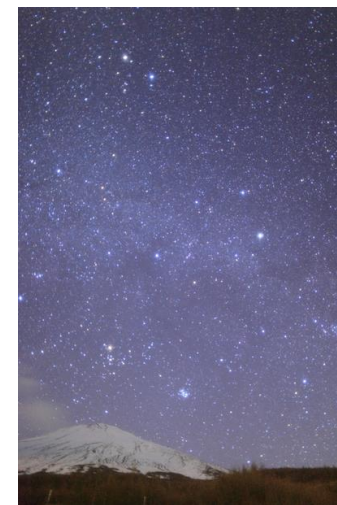
いつも主にあって喜びに満たされなさい。

もう一度言います。喜びなさい。

ピリピ書4章4節

神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。

ヨハネ3：16



主の十字架クリスチャンセンター(TLCCC)

The Lord's Cross Christian Center

<http://astone-blog.jp/tlcccrh/>

